

ちやっとおいでん

あおきひろえ



うずらたまご

ちぎりマーク

ちぎ

のんほいマーク

のんほい

ふたがわしく

のんほい

のんほい

のんほい

りん

いもうしつげん

おいでん

のんほい

ちぎ

のんほい

ちぎ

ちやっとおいでん

あおきひろえ



うずらの きょうだい ジャン、ダラ、リンは、
ほーちゃんの だいの なかよし。

きょうも おにわで あそんでいると
どこからか ほーちゃんを よぶ こえが します。



おでん?



お・い・で・ん



ちやっとおいでん





ちやっとおいでん

「ほれ、あっちでよんどるじゃん」
うずらのジャンがいました。

とおりに でてみると だれも ほーちゃんを
よんでいる ひとは ありません。
すると また、

こえの するほうへ いってみると
おとなたちが いっしょうけんめい
なにかをつくっています。

「いっぺんもってみるかん？」
「わ～！おおきいな」
と、あれ？なんだ？なんだ？







さーん!!

ぽんぽん!

ほーちゃんが おっちたのは、
キャベツばたけの どまんなか。
はたけしごとをしていたひとたちは
びっくりぎょうてん。

と、こんどは むこうのほうから
たすけを もとめる こえが!

ちやっとおいぞーん!!





いそいで かけつけると、
あかおにがおおあばれをしています。
「こらー！だいじな キャベツに
なにしてくれるだー！」
と、てんぐが あらわれました。



うずらのダラも
「ほい、ほーちゃんも
すけだちするだら！」



てんぐは とくい の なぎなた で いちげき、
ほーちゃん は わきばら を こちょこちょ、
うずらの きょうだい も つついたり、
ひっぱったり、 チョキチョキ したり、...

「イテテテテー！ わっはっは！ へーくしょい！
わー！ つの だけは、 ごかんべん」
とうとう なぎだした あかお には、
これを たべると その としは
びょうきを しらない という たんきりあめを
さしだして あやまりました。





おにが さってゆくとはるが やってきます。
あたたかい かぜとともに、

ちやっとおいでん

「さあ、ほーちゃん、
でんしゃにおのりん」
うずらのリンが さそいます。



ガタンゴトン ガタンゴトン

しゅうてん しゅうてん～




あれあれ？ここは？

ほーちゃんが あそんでいた おにわです。

そして、こんどは おうちの なかから

ちゅっとおいでん



「ただいまー！」
ほーちゃんがおうちに とびこむと
おかあさんが にっこり
わらって いました。
「ちょうど おでんが
にえとるよ」



豊橋市からみなさまへ

このまちの子どもたちに、
自分の住むまちを好きになってほしい、
そんな願いを込めて絵本を制作しました。
ほーちゃんやうずらのきょうだいと一緒に、
絵本からあふれる「とよはし」を感じながら
楽しんでいただければ幸いです。

作・絵 あおきひろえ 愛知県豊橋市生まれ。

大阪のイラストレーター集団（株）スプーン勤務の後、『ババとぼく』（絵本館）で絵本デビュー。
主な作品に『お風呂でなんでやねん』（鈴木翼・文/世界文化社）、『ぼんちゃんのぼんやすみ』（講談社）、『ここにいる』（あかつき教育図書）、『ききみとトーマス』（原作・桂雀喜/あかね書房）など。
落語好きが高じて自宅を寄席にした『ツギハギ荘』席亭。京都精華大学 デザイン学部 特任教授。

春風のように「ちゃっとおいでん」と、だれかが呼ぶところには、きっといいことが待っている、
そんな気がしています。



aoki hiroe

ちゃっとおいでん

令和6年2月20日 初版発行

発行者 豊橋市（政策企画課）

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地

TEL: 0532-51-3151

E-mail: seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp



Read in your language!!



なめしでんがく

キャベツ

トヨツキー

すかすかに

ウツク

おしほしほ

しおすか

おほしほ

くすか

おしほしほ

おしほ

エールオアジ

おしほしほ

おしほしほ

あかうみがめ

おしほしほ

